



やらまいか

クラブテーマ：スマイルロータリー、新時代へ進化

会長／太田 稔 幹事／池田 弘 会報委員会／乙部享祐・杉浦和人・原田浩史

例会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内

Tel: 0533-86-2535 Fax: 0533-86-8889 HP: <http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第7回 通算 1728回 2023年9月5日（火）	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/22 修正出席率
		72名	31名	50%	74.2%

ゲスト：（なし） ビジター：メイクアップ受付6名

★会長あいさつ

太田稔会長



皆さん、こんにちは。最近コロナが身近で増えているようです。皆さん気をつけてください。

先週の例会の後に法人会の役員会・講演会がありました。会員の中にも数名の方が出席をされていました。ジャーナリストの浜田敬子さんの講演会がありました。元は朝日新聞の記者で、朝日新聞が出している週刊誌の「AERA」の元編集長の方です。テレビのコメンテーターとしても活躍されている方です。話の内容は、我々の業界に関係してくるのですが、メディアは紙媒体では、若い世代に読まれなくなっているというような話でした。今の若い世代というのは、ミレニアル世代とZ世代があります。その世代は、新聞もテレビも見なくなっている世代だそうです。

この世代は、生まれた時に既にインターネットがあった世代になります。考え方が僕らとは全然違います。ここにいる人たちは昭和生まれだと思います。ミレニアル世代は、1980年以降の生まれで2000年代成人になった世代の人たちを言います。20代から30代の人たちになります。Z世代は、1996年以降に生まれた人達になります。ミレニアル世代は、Y世代とも言われるので、その次の世代を表す意味でZ世代と呼ばれています。この世代に対しては、うちの業界は厳しいです。何か付加価値をつけて、この世代にも受け入れられるようにしていこうと思っています。

今日は、河本委員長の増強に関する卓話になります。宜しくお祈りします。

★幹事報告

池田弘幹事

例会臨時変更のお知らせ

次回ガバナー公式訪問合同例会について

★会員委員会担当例会

河本圭史委員長



皆さん、こんにちは。8月1日地区の会員増強セミナーに太田会長と共に出席をして参りました。3部構成で、1部は地区の委員会からの発表と講演、2部は講演会でロータリーの友委員長の高野孫左エ門さんの講演がありました。3部は懇親会でした。こ

の中を掻き摘んで、本日の例会で紹介させて頂きます。

当クラブの会員数は 72 名で、東三河分区の中では、1 番多いのは豊橋 RC の 111 名で、次が当クラブになります。東三河分区の 12 クラブの中では、会員数の多いクラブになります。

地区内 84 クラブの平均の会員数が 54 名、女性会員数が 3.08 名ということで、うちのクラブは 4 名いますので、平均より多いクラブになりますが、全国的にみると、もう 1 名女性会員が増えた方が良いでしょう。

コロナが始まってからの 3 年間の退会者ですが、2020-21 年度は 124 名、翌年は 63 名、昨年は 24 名でした。地区の見解としては、会員の減少が鈍化しているので良い傾向だと分析していますが、私には、コロナで今がチャンスと退会した人がいるだけで、必ずしも退会者が鈍化するかは分からないところだと思います。

分区ごとの退会率としては、多い分区は 13.6%の南尾張分区です。東三河分区は 7.3%です。

男女別退会割合としては、男性は 93.2%、女性 6.8%ですが、会員数の割合が男性 94.3%女性 5.7%なので、女性の退会率の方が高いです。

年代別の退会者は、50 代が高く全体の 36%を占めています。ロータリーの中で一番活躍される年代になります。クラブにとっても活躍される世代の退会は痛いところです。

会員歴のみると、入会して 3 年未満が 29%います。3 年未満と 10 年未満を足すと 62%で、長くロータリーを続けている方はクラブに定着していますが、ロータリーの事を多く勉強されていない会員歴の方が多く退会しています。

退会理由としては、職業上の退会が一番多くなっています。転勤も 29%ありますが、新しく着任されますので、ここの数字は少し読みづらいです。

各分区のオリエンテーションや歓迎会の実施の状況をみると、しっかりと実施されているクラブは退会率が低くなっているようです。当クラブも会員委員会がオリエンテーションや勉強会を開催してきています。本年度もオリエンテーション実施が予定されているとのことです。

地区から DEI について言われています。多様性、公平さ、インクルージョンです。これをどのようにロータリーに活かしていくかとなります。当クラブとしては、現状を維持していくためにも、増強の「強」の部分強化していく必要があると思います。

DEI の「D」は、DIVERSITY、多様性です。元々はアメリカに置いてマイノリティは女性の積極的な採用、差別のない処遇の実現するために広がったものです。その概念が広がり、多様な働き方を重要とする考え方として使われています。職業、ジェンダー、年齢、国籍などを受け入れることになります。

DEI の「E」は、EQUITY、公平さです。公明正大ということで、無視無欲。公平は平等と比較されません。同じ高さの踏み台を与えるのではなく、一人一人に合った高さの踏み台を置くというのが公平ということになります。それにより参加者が快適になり、貢献できるクラブになるということです。

DEI の「I」は、INCLUSION です。社会的な一体性、人種・文化などの多様性を受入れるという意味になります。みんなが必要とされるチームワーク。すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を想像することです。

つまり、多様性のあるクラブをつくり、多様なメンバーを公平に扱うことで、皆が仲間になって、メンバー全員の居場所がある素晴らしいクラブが出来るということです。これにより退会率が減り、女性会員も増えていくということになります。

ロータリーの多様性は、会員の種類、衛星クラブ、例会回数、出席率、例会の形式などがあります。

クラブが多様性を生かすためには、規定審議会でいろいろな変更が決定されました。各クラブは細則変更により多様性を取り入れることができるようになりました。

これから伸びていくクラブは、楽しくて快活な例会を行っている。新しいことに挑戦している。自然に会員がクラブの活動へ積極的な参加意識を持っている。会員と会員との会話がベテラン会員・新会員に関わらず弾んでいる。一人の会員がいないようにするという事です。

退会防止の具体的に方法としては、DEI を行動規範としつつ、多様性を持っていく。会員の種類を色々と考えてみる。若手会員の場合、ベテラン会員の場合、それぞれを考えてみる。規定審議会の変更点を利用して、事業所や住居の所在地について変更していく。子連れ例会出席の許可をする。変更点を上手く利用することで、多様性のあるクラブになり、退会防止につながると考えられています。

楽しいクラブ活動で、楽しいロータリーライフを。一人一人の会員がクラブにとって重要な役割を持っています。

地区からの提言を聞いて、当クラブを考えてみま

すと、「みんな仲良く」というスローガンのもと楽しいクラブ活動、親睦事業が行われています。行事への参加率も高く、退会率は低いのではないかと思います。豊川宝飯 RC に関して言えば、現状を維持しつつ、新入会員の入会、クラブ内での研修を深めていけば良いのではないかと思います。

第2部では、甲府ロータリークラブの高野孫左エ門さんのお話でした。とても聞きやすく、退屈することなく、非常に良い卓話を聴くことが出来ました。高野さんは、事業を継承すると共に孫左エ門という名前も継ぐという、由緒ある家系で、祖父はチャーターメンバー、父は地区ガバナー、生涯ロータリアンということで、息子さんもロータリー活動をされているということです。

最後に皆さんに紹介したい高野さんの言葉があります。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す。そして、希望は失望に終わることはない。」
「希望は黙って耐えていれば湧いてくるものではない。苦難にあっても自ら希望を強く持ち 確信をもって苦難に立ち向かう者こそ、苦難を耐え忍ぶことができ、結果として希望が苦難を乗り越える力となる。」良い卓話を聴くことが出来ました。高野さんの卓話の資料が手に入ったら、オリエンテーションの際に皆さんにご案内できればと思っています。ご清聴ありがとうございました

★ニコニコボックス

河本圭史会員 本日の例会を担当します
伊藤和典会員 誕生日を祝って頂き
青谷友章会員 〃
土井昌司会員 〃
林 博宣会員 〃
竹本裕一会員 結婚記念日を祝って頂き
井指和昭会員 〃
池田 弘会員 〃
山本博史会員 事業所創業を祝って頂き
小田伊佐浩会員
井指光基会員 入会記念日を祝って頂き

★国際ロータリーの Facebook 紹介

15 歳以上で読むことができない人の人口は 7 億 7,500 万人と言われており、これは世界の成人人口の 17%に相当します。ロータリーでは、識字の重要性を認識し、教育におけるジェンダー不平等を減らし、すべての年齢の人たちが学びへのインスピレーションを得られるよう、教育者のエンパワメントを行うといった活動を実施しています。



大阪西南ローターアクトクラブは、スポンサークラブと合同で、フィリピン・ルソン島で現地の女子学生を対象とした性教育や月経カップを届ける活動を実施しました。その後は日本における生理の貧困問題にも取り組んでいます。



9月9日 名古屋市東山動植物園『伊藤圭介生誕 220 年記念事業』協賛事業として、名古屋東ロータリークラブが世話クラブとなり名古屋市内 13 ロータリークラブと名古屋市内 8 クラブ社会奉仕委員会の協賛とローターアクトクラブ、インターアクトクラブの事業協力により、名古屋東ロータリークラブ創立 65 周年記念事業の一環として久屋大通庭園フラリエにてシモバシラ、スズラン他の植栽が行われました。



会報担当：乙部享祐・杉浦和人・原田浩史